

ピーター・ホワイトハウス教授 公開セミナーのご報告

認知的加齢への挑戦 認知症の神経科学的診断から世代間交流支援までの統合的アプローチ

2014年10月7日(火)に、ケースウエスタンリザーヴ大学の神経学教授、また本学大学院臨床教授でいらっしゃるピーター・ホワイトハウス教授の公開セミナーが本学で開催されました。教授はアルツハイマー病研究の世界的権威であるだけでなく、全米ドクタートップ100人に選ばれた名医でもいらっしゃいます。認知機能障害をもつ高齢者のケアに革新的なアプローチを世界で取り入れていらっしゃっています。世代間交流小学校(The Intergenerational School: TIS)をクリーブランド州で創設されました。

今回のセミナーには約70名の看護師、医師、その他の専門職、教育・研究者がご参加くださいました。

今回のセミナーでは、アルツハイマーの診断時のバイオマーカーの話から、認知症に対して統合的アプローチによるケアが重要であることや、TISでの実際の認知症高齢者と子供の交流のあり方が具体的に紹介されました。中でもダンスやストーリー、アートなどの遊びを通じて相互に理解し合うことの重要性を熱く語っていらっしゃいました。時間ぎりぎりまで、多くのご質問にも丁寧にお答えいただきました。



主催：聖路加国際大学看護学部老年看護学・教育センター

共催：NPO 法人高齢者を支える学際的チームアプローチ推進ネットワーク